

青果物の 市場経由率

7年ぶりに上昇

卸売市場経由率の推移(%)

年度	青果	野菜	果実	水産	食肉	牛肉	豚肉	花き
1989	82.7	85.3	78.0	74.6	23.5	43.4	13.5	83.0
1990	81.6	84.7	76.1	72.1	22.6	38.2	14.0	82.3
1991	80.3	82.5	76.2	76.7	19.6	34.1	12.3	86.6
1992	79.4	85.1	69.9	75.6	17.9	28.8	11.7	83.1
1993	79.8	84.5	72.0	70.2	16.3	22.7	12.1	85.8
1994	74.5	82.4	62.8	70.2	16.0	22.5	11.5	85.1
1995	74.0	80.5	63.4	67.6	15.5	21.5	11.1	81.9
1996	74.6	82.3	61.7	69.4	14.9	21.5	10.6	84.1
1997	74.6	82.8	61.6	71.0	15.1	20.4	11.2	85.5
1998	74.3	81.8	61.7	71.6	15.5	20.3	12.1	85.6
1999	70.9	79.4	57.2	68.6	16.7	22.5	12.8	83.7
2000	70.4	78.4	57.6	66.2	17.1	23.3	12.6	79.1
2001	68.9	78.7	54.1	62.5	14.3	18.5	11.8	79.6
2002	69.6	79.1	55.0	61.2	13.4	17.7	11.0	79.7
2003	69.2	78.9	53.7	63.2	12.2	15.8	10.3	80.9
2004	66.1	77.3	49.0	62.9	11.6	17.3	9.0	82.6
2005	64.5	75.2	48.3	61.3	10.3	16.4	7.5	82.8
2006	64.6	75.8	46.6	62.5	10.1	15.5	7.3	85.4
2007	61.7	73.2	43.6	60.0	10.1	15.8	7.4	83.0
2008	63.0	73.8	45.7	58.4	9.8	15.8	7.0	84.0
2009	64.6	75.5	47.1	58.0	10.3	15.7	7.5	85.1
2010	62.4	73.0	45.0	56.0	9.9	15.1	7.2	83.4
2011	60.0	70.2	42.9	55.7	9.4	14.4	6.9	84.4
2012	59.2	69.2	42.4	53.4	9.9	15.2	7.1	78.7
2013	60.0	70.2	42.2	54.1	9.8	14.6	7.3	78.0
2014	60.2	69.5	43.4	51.9	9.5	14.8	6.9	77.8
2015	57.5	67.4	39.4	52.1	9.2	14.3	6.8	76.9
2016	56.7	67.2	37.7	52.0	8.6	12.9	6.6	75.6
2017	55.1	64.3	37.6	49.2	8.3	12.3	6.4	75.0
2018	54.4	64.8	35.8	47.1	8.2	11.7	6.4	73.6
2019	53.6	63.2	35.6	46.5	7.8	11.3	6.0	70.2
2020	52.2	62.6	33.1	45.7	8.1	12.1	6.1	74.1
2021	53.9	62.7	37.1	45.6	8.1	12.3	6.1	74.8

注)①農水省が、国内で流通した国産・輸入品のうち、卸売市場を経由した数量(花きは金額)の割合を、食料需給表、青果物卸売市場調査報告等から推計した②ジュース・缶詰など加工品の原料として使用されたものも含む③水産物についてはいわゆる産地市場の取扱高を除く

参考: 国産青果物の卸売市場経由率(上段: 年度、下段=%)

2006	~	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
91.9	~	81.2	79.5	78.5	79.2	76.9	74.9	76.4

近年は低下の一途だった青果物の卸売市場経由率(農水省推計、数量ベース)が、2021年度は53・9%となり、7年ぶりに上昇(1・7%)に転じた。そのうち野菜が62・7%で0・1%上昇とほぼ前年度並みに対し、果実は37・1%と4・0%も上昇した。野菜は4年ぶり、果実は7年ぶりの上昇。国産青果物に限った卸売市場経由率は76・4%で1・5%上昇、こちらも4年ぶりに上昇し、高い水準を維持している。この傾向が続くか、注目される。

農水省の推計による卸売市場経由率は、卸売業者の集荷・販売を基本とする卸売市場統計からの推計(花きのみ金額ベース)の輸入果実仕入れや、仲卸による商社からの輸入果実仕入れや、他市場や産地からの直荷を含まない。それらを加味すれば、実際の卸売市場経由率はもう少し上昇するものと思われる。

その卸売市場経由率は、ほぼ一貫して低下傾向にあった。青果では13年度(14年度は連続で若干上昇したもの、その後は再び低下。とくに果実の低下が著しく、20年度は過去最低の33・1%まで落ち込んでいた。

国産76.4%の高水準

果実4% 1ポイント上昇

野菜37.1%、 62.7%

近年は低下の一途だった青果物の卸売市場経由率(農水省推計、数量ベース)が、2021年度は53・9%となり、7年ぶりに上昇(1・7%)に転じた。そのうち野菜が62・7%で0・1%上昇とほぼ前年度並みに対し、果実は37・1%と4・0%も上昇した。野菜は4年ぶり、果実は7年ぶりの上昇。国産青果物に限った卸売市場経由率は76・4%で1・5%上昇、こちらも4年ぶりに上昇し、高い水準を維持している。この傾向が続くか、注目される。